

## 平成29年度第3回稲毛区支え合いのまち推進協議会 議事要旨

### 【会議概要】

- 1 日 時 平成29年9月25日（月） 14時00分～16時00分
- 2 場 所 稲毛保健福祉センター 3階 大会議室
- 3 出席者 委 員 28名中 23名出席  
事務局 稲毛保健福祉センター 所長、高齢障害支援課2名  
稲毛区地域振興課 暮らし安心室長  
保健福祉局地域福祉課 2名  
社会福祉協議会稲毛区事務所 所長以下3名

### 【次 第】

- 1 開会
- 2 議題
  - (1) 稲毛区支え合いのまち推進計画（第3期稲毛区地域福祉計画）の進捗状況について
  - (2) 稲毛区支え合いのまち推進計画（第4期稲毛区地域福祉計画）（原案）について
  - (3) 市民説明会について
  - (4) 支え合いのまち稲毛（稲毛区推進協だより）の発行について
  - (5) 生活支援サービス活用ガイドについて
  - (6) 社会福祉法人における地域の公益的取組について
  - (7) その他
- 3 閉会

### 【議事要旨】

#### 議題1 稲毛区支え合いのまち推進計画（第3期稲毛区地域福祉計画）の進捗状況について

事務局から、稲毛区支え合いのまち推進計画（第3期稲毛区地域福祉計画）の平成28年度の進捗状況について、資料により説明した。質問・意見はなかった。

#### 議題2 稲毛区支え合いのまち推進計画（第4期稲毛区地域福祉計画）（原案）について

事務局から、稲毛区支え合いのまち推進計画（第4期稲毛区地域福祉計画）（原案）について、資料により説明した。質問・意見はなかった。

#### 議題3 市民説明会について

事務局から、「支え合いのまち千葉 推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）（案）」の内容を市民の皆様にお知らせするとともに計画案に対する意見をうかがうため市民説明会を行うこと、稲毛区では平成29年11月4日（土）に開催することについて、資料により説明し、質疑応答を行った。

## <主な質疑応答>

委員	各区における市民説明会には、手話通訳者の派遣を依頼しているか。
事務局	すでに依頼済みである。

### 議題4 支え合いのまち稲毛（稲毛区推進協だより）の発行について

事務局から、広報委員会において第23号の記事として、「第4期計画の策定（市民説明会含む）」、「生涯現役応援センター」、「災害に備える地域づくり」、「いなげ子育てフォーラム」について掲載することを決定し、資料のとおり平成29年10月に発行する予定であることを説明した。また、第24号で掲載してほしい記事があれば、事務局に連絡するよう依頼した。特に意見なく、推進協だよりの発行について、案のとおり承認された。

### 議題5 生活支援サービス活用ガイドについて

稲毛区生活支援コーディネーターである佐藤委員から、生活支援コーディネーターが直接団体を訪問し収集した情報をもとに、家事支援、外出支援、日用品等の宅配、見守り・安否確認等のサービスを冊子にまとめた「生活支援サービス活用ガイド」を作成したので活用してほしいこと、本ガイドに掲載されていないサービスを提供している場合には情報提供してほしいことを説明した。質問・意見はなかった。

### 議題6 社会福祉法人における地域の公益的取組について

事務局から、平成28年の社会福祉法改正により、社会福祉法人は地域における公益的な活動に積極的に取り組むよう求められており、稲毛区においても、社会福祉法人が各々取り組んでいるため、地域住民が福祉活動を行う際に連携が可能なことを説明した。

その後、「社会福祉法人手をつなぐ育成会」の「でい・さくさべ共同生活援助事業サービス管理責任者である児玉委員から、「でい・さくさべ」等における地域貢献活動（地域清掃の実施、地域交流バザーの開催、よいこの広場・いきいきサロンの場の提供等）について、「社会福祉法人初穂会」の平賀理事長から、「特別養護老人ホーム 稲毛こひつじ園」等における地域貢献活動（納涼祭・認知症カフェ・子ども食堂の開催等）について説明していただいた。

## <主な意見・質疑応答>

委員	<p>でい・さくさべは、開設当初から、地区部会への活動場所の提供や、地域清掃をしていただいている。地域清掃については、去年は千葉市の美しくする会の表彰を受けた。また、地域生活支援センターふらるのラウンジは高齢者だけでなく、門戸が広いため、地域活動の中心的な場所として利用させていただいている。</p> <p>また、10月21日にでい・さくさべで開催される地域交流バザーのイベントで、「童謡を歌う会の合唱」が予定されている。これは、ふらるで月1回活動している会の発表の場となっており、会員はみんな喜んでいる。障害者の方も多く来場して一緒に合唱するため、障害者と健常者が垣根なくふれあう機会となっている。</p>
----	--

事務局	<p>活動拠点の確保が難しいという課題がある中、地域交流スペースとして社会福祉法人が場所の提供をしていただいているので、いきいきサロンなど地域の交流の場として活かしていければと思う。</p> <p>また、障害者の方を理解することは、講座を受講するだけではなかなか難しいので、入所している障害者の方と一緒にいろんな活動に取り組むことが障害者の方を理解するには一番よいことだと考えている。</p> <p>それぞれの社会福祉法人に質問であるが、今後、取り組んでいきたいという課題があれば教えていただきたい。</p>
平賀 理事長	<p>先ほど、子ども食堂や認知症カフェを開催する際にボランティアが不足しているという話を申したが、大学・高校・地域からボランティアとして非常に多くの方々に来ていただいているものの、曜日によって、不足してしまう日があるという趣旨である。</p> <p>今後は、ボランティア経験者に声をかけつつ、それらの資源を活用して解決していきたい。</p>
児玉 委員	<p>地域の皆様に支えていただいている施設であるので、いかに地域の皆様と連携を深めて、地域交流を続けていきたいということが課題というか目標である。</p> <p>何年たっても変わらないというスタイルを大事にしていきたい。</p>
事務局	<p>千葉県社会福祉協議会においても、高齢者の買い物支援などで福祉施設の協力が必要であり、より一層、福祉施設と連携・協力して、支え合う地域づくりができるよう取り組んでいきたいと考えている。</p>

## 議題7 その他について

事務局から、平成29年度第4回推進協議会について、来年3月に開催する予定であることを説明した。